

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	①児童の主体的な学びのために指導方法の工夫・改善を行った結果、児童の書く力が伸び、学力状況調査で好成績を残すことができている。今後、児童の「SDGs教育」の充実のために、カリキュラムマネジメントをすすめ、校内研での共通した取組を一層充実させる。 ②「ひがしっ子」の合言葉とともに、児童の「出番・役割・承認」を充実させ自己肯定感を高めてきた結果が表れてきている。今後、特別支援教育の充実を図り、個に応じた指導・支援のさらなる実現を図る。 ③キャリア教育推進のために、様々な体験活動を充実させるとともに、キャリアパスポートを継続的に活用し、家庭と協働したキャリア教育の工夫や保護者への説明の充実にも努める。 ④業務改善・教職員の働き方改革への職員の意識が変革しつつある。今後、生み出された時間の有効活用方法を探り、職員の魅力を一層伸長する。
------------------	---

2 学校教育目標	みんなと確かに伸びる子どもの育成 ひびきあうあいさつ(体力・健康・生活の向上) がんばる勉強・読書(学力の向上) しっかり仕事(生き方・キャリア教育の推進) コミュニケーション(地域連携・仲間づくりの推進)
----------	---

3 本年度の重点目標	①児童が主体的に学習や生活、学校行事等に係る組織づくりと手立てを工夫し、児童の「知・徳・体」の向上を目指す。 ②「ひがしっ子」の合言葉のもと、児童・職員・保護者・地域が目標を共有し、連携を深めながら、児童の「知・徳・体」の向上を図る。 ③キャリア教育推進のための手立てを確立し、児童の「志」の確立と自己有用感の向上を図る。 ④個別最適な学びと協働的な学びの視点に立ったインクルーシブな特別支援教育の推進を図る。 ⑤業務改善・教職員の働き方改革による、ゆとりある教育活動の推進を図る。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価				主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上。	・学期ごとに校内学力向上研修会を行い、マイプランの計画・振り返りを行う。							浅山(学力向上CO)
	○全教科で、自分の考えを書く活動を取り入れる。	○「自分の考えを相手に分かるように工夫して書くことができた」と肯定的な回答をする児童の割合が70%以上。	・授業の中で必ず1回は児童の考えを書く活動を入れる。							前田(研究主任) 原田(教務主任)
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上。	・道徳や人権・同和教育の研修を協働して行い、授業実践を深める。 ・外部講師などを積極的に招き、児童に生き様を考えさせる。							松本(人権・同和教育担当)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめ防止等)についての取り組み、事案対処等)について、組織的対応ができていると回答した教師が85%以上。	・日頃から児童の様子をしっかりと観察したり情報交換したりする。 ・毎月アンケートを実施し、その内容を管理職や教職員が共有したりして早期発見早期対応に組織で取り組む。							梶山(生徒指導)
	○児童の自己肯定感を高め、自己有用感の得られる環境の充実	○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童(小学6年生)85%以上。	・ソーシャルスキルトレーニングの活用。 ・児童の様子を全職員で共有し、SCやSSWへスムーズにつなぐ。							
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童70%以上。	・朝ラン5分、昼休み35分、放課後20分、合計60分以上の運動を呼びかける。 ・交通安全の取り組みを行う。							岩部(体育主任) 川崎(食育)
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする								
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に食事は大切である」と考える児童85%以上。 ○朝食をとって登校する児童85%以上。	・給食指導に全職員で取り組み、マナーを守り、給食時間内完食を呼びかける。 ・生活状況調査と食に関する意識調査の実施。 ・保健だよりと給食だよりの発行。							岩部(体育主任) 川崎(食育)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間上限の遵守。	・時間外勤務時間の自覚と定時退勤日を週1回以上設定。							教頭
	○ICT利活用推進	○授業でのICT利活用85%以上。	・児童の実態や学習内容に合わせた電子黒板や一人一台タブレット端末などのICT機器の有効活用。							浅山(情報活用CO)

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価				主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○表現力の育成	○書く活動の充実	○作文等の作品募集に参加したと答えた児童が80%以上。	・児童が夏の読書感想文に全員取り組む。 ・各種作品募集を紹介する。							前田(研究主任) 原田(教務主任)
○「志」を高める教育	◎自身の将来や夢のための身近な目標に対し、主体的に取り組む、成長しようとする姿勢を育てる。	◎夢や目標を持って、学習や行事に取り組めた児童85%以上。	・学習や行事ごとにめあてを持ち、振り返りを行い、児童が自分事として取り組めるようにする。様々な体験活動を通して、志を高める。							校長
○地域連携・地域を愛する人材育成	OPTAや地域と交流する活動への積極的な参加	○交流活動で地域のよさに気付き、存続させようと考えた児童85%以上。	・松原保全活動やSDGsの取組、海洋教育バイオアスкулプログラムを自分事として考えさせ、切実感や必要感を持たせる。							教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------